



タイ

2 地方3都市上水道拡張事業、南部地方3都市上水道拡張事業

チェンマイ、ウボンラチャタニ、スパンブリ、ペチブリ、スラタニ、パタルンの6都市で、浄水場建設等により、将来の水需要の増大に対応するとともに水道普及率向上を図り、もって衛生状態の改善と地方開発に寄与する。

承諾額/実行額 89億8,200万円/47億8,400万円
借款契約調印 1993年1月、1993年9月
借款契約条件 金利3.0%、返済25年(うち据置7年)、一般アンタイト
貸付完了 2000年5月、2001年1月



外部評価者 三島光恵 (OPMAC(株))
現地調査 2003年7月

評価結果

本事業では、ほぼ計画通りに浄水場の建設および送配水管の拡張等が行われた。期間については、1997年から98年のアジア通貨危機によって実施機関の予算支出が遅れたこと、および送配水管の延長等のため、計画を上回ったが、事業費は計画を下回った。本事業によって建設された6都市(人口約580万人:兵庫県の人口約578万人)の浄水場における2002年の1日平均給水量を計画値(05年)と比較すると、スパンブリではすでに1.6倍となっている。ウボンラチャタニ、ペチブリ、スラタニ、パタルンでは現在のところ約80%となっているが、計画年(05年)がまだ先であることを考慮すると、妥当な数値といえる。また、チェンマイのみ約60%と計画値に対する達成度がやや低くなっているが、これは現在貯水池からの取水が灌漑局により制限されているためであり、将来は同貯水

池に他地域から導水して、上水道に供給する計画である。ウボンラチャタニ、ペチブリ、パタルンで実施した受益者調査では、各地で79~97%が「衛生の改善」を、80~98%が「時間の節約(水くみ労働の軽減)」を本事業の便益として回答した。実施機関である地方水道公社(PWA)は運営・管理業務の外部委託および予算管理の効率化に取り組んでおり、技術、体制、財務面については問題はない。

第三者意見

本事業は、タイの他の公共事業にみられるように、複雑な調整等により期間は計画を上回ったが、地方の人々にもたらした生活水準向上の効果は非常に大きい。

有識者 Mr. Medhi Krongkaew

ミシガン州立大学博士課程修了(経済学)。現在国立開発行政院(NIDA)経済学部教授、貧困研究センター所長。専門は経済学、東アジア経済など。

パタルンの水道利用者



受益者調査では、各地で79~97%が「衛生の改善」を、80~98%が「時間の節約(水くみ労働の軽減)」を本事業の便益として回答した。

パタルンの浄水場



2002年にはこの浄水場から1日平均8,140m³の水が供給された。2005年の計画値が10,047m³であるので2002年時点で既に計画の81%を達成したことになる。

1日平均給水量の計画値と実績値の比較

出所:実績値(1990年)、計画値は当行審査資料、実績値(2002年)はPWA。

■ 1日平均給水量の実績値(1990年)
■ 1日平均給水量の実績値(2002年)
■ 1日平均給水量の計画値(2005年)

